

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業評価

小笠原村総務課企画政策室

交付金の対象事業の内容	本事業の評価指標及び実績 (目標年月：H28.3月)	外部有識者からの意見	実績値を踏まえた事業の今後について
<p>1. 地域魅力発信事業 (交付金額 約661万円)</p> <p>【事業概要】 ○平成28年7月より就航する新おがさわら丸の竹芝出航時間が午前11時となることに伴い、東京前泊なしで当日に乗船できる地域が広がるため、戦略的に関東圏以外に対象地域を絞って観光PR事業を展開する。</p> <p>【事業内容】 ○旅行会社向け個別営業の開催地の拡大 ○名古屋での観光PRイベントの開催 ○『OgasawaRunツアー』の実施 ・ツアー実施、アンケート実施 ・誘致宣伝材料(宣伝ムービー)の制作 ・誘致専用WEBサイトの立ち上げ ・メディアとタイアップした宣伝活動 ・雑誌「Cheek」に特集記事掲載 ・ウェブマガジン「名古屋ランニングジャーナル」ほか</p>	<p>【評価指標】 ○対象地域からの観光客数の増加</p> <p>【目標指標値】 5%増(H26・914人→H27・960人) 【H27実績値】 9%増(H27・997人) 【事業効果】 ○中京地区(愛知・岐阜・三重)からの観光客数が、914人(H26)から997人(H27)へと83人(9%)増加したことに貢献。</p>	<p>【意見】 ○ツアー参加者自体は少なかったものの、国内最大手の女子市民マラソン大会との連携や大手旅行会社とのコネクションを得るなど、将来性のある成果を上げることが出来たと考えられる。また、ツアー造成時には、ターゲットと地域の特徴から工夫を凝らした企画を盛り込むなど、父島母島の両島にとって効果的な集客を図っていたきたい。</p>	<p>【今後の方針】 ○事業内容の見直し(改善) ・ツアー内容の改善(アンケート結果を踏まえ) ○事業の継続 (H28 継続実施) ○関係団体との緊密な連携を図り、流行を取り入れつつも、持続性のある魅力的なツアー開発や効果的なPR事業を検討していく。</p>
<p>2. 東京都町村魅力発信事業 (交付金額 230万円)</p> <p>【事業概要】 ○西多摩、島しょ地域に存する町村は、人口の流出に歯止めがかからず、大きな課題となっている。 ○西多摩及び島しょの町村が連携し、地域の観光資源や生活の魅力を発掘し、その魅力を発信する事業を行うことにより、観光業の振興、雇用の創出、及び同地域への移住者の増加を図り、人口の流出に歯止めをかける。</p> <p>【事業内容】 ○西多摩、島しょ地域の13町村の観光の魅力を発掘し、移住者への魅力をPRするテレビ番組の制作・放映を行う。 ○各町村の役割は、番組制作放映の経費負担 ○各町村ごとの番組(30分)を制作し、MXテレビにおいて、「東京の山の達人、海の達人」というシリーズ番組として、平成27年4月～6月にかけて、毎週、1町村ずつ放映した。(小笠原村は5月30日放映)</p>	<p>【評価指標】 ○東京からの観光客数 前年比5%増 (H26 東京からの観光客数 5,621人)</p> <p>【目標指標値】 5%増(H27→ 5,902人) 【H27実績値】 5%減(H27→ 5,330人) 【事業効果】 ○台風による欠航や延発便などの影響により、目標達成には及ばなかった。 ○PR効果の高いテレビ放送を活用したことで、潜在的に小笠原を意識付けることができたと考えられる。</p>	<p>【意見】 ○台風による欠航や延発便などの影響により、KPI達成には及ばなかったが、広域的な連携により、PR効果の高いテレビ放送を活用したことで、潜在的に小笠原を意識付けることができたと考えられる。</p>	<p>【今後の方針】 ○事業内容の見直し(改善)を図る ○継続的なテレビ番組作成は、経済的にも困難であるため、離島地域間の連携について情報収集を図りつつ、都内町村と連携した効果的な魅力発信の手法を検討していく。</p>
<p>3. 医療・介護人材確保事業 (交付金額 40万円)</p> <p>【事業概要】 ○小笠原村は、地理的な交通アクセスの面で大きな不利性を抱えていることから、専門的な人材の安定確保が難しい。そのため、小笠原村の医療・介護の実情や小笠原村での生活環境を知ってもらい人材確保につなげるために、求められる専門職の方を対象に小笠原村への体験ツアーを実施する。</p> <p>【事業内容】 ○専門職の小笠原体験ツアー ○小笠原村への渡航費に対する補助(一人8万円×10人)</p>	<p>【評価指標】 ○採用について具体的な相談者の数</p> <p>【目標指標値】 3人 【H27実績値】 5人 【事業効果】 申込者8人のうち、5名が参加。その内、3名が採用試験を受験し、3名を採用しており、直接的な人材の確保で効果があった。</p>	<p>【意見】 ○実際に島に来ていただくことで、労働環境・生活環境の不安を解消していただくとともに、小笠原の魅力を伝えることができるため、専門職の安定的な確保に有効な施策であったと考えられる。また、人材確保は恒久的な課題であるため、継続して取り組む体制の維持・確保にも努めていただきたい。</p>	<p>【今後の方針】 ○事業の継続 ○平成28年度から東京都が補助事業化したため、都補助に即した内容で引き続き事業を継続していく。</p>